

人・夢・あかえ

第20号 平成26年12月発行
赤江地域まちづくり推進委員会
〒880-0911 大字田吉5730-3
赤江地域センター内 ☎51-5122



まいぶれ
Powered by Palmis
http://miyazaki.myp1.net/
ホームページ
検索

本郷地域(本郷中学校区)の分割について

赤江地域まちづくり推進委員会は7月に臨時総会を開催し、まちづくり推進委員会を2つに分割することを決めました。
9月から「本郷まちづくり推進委員会設置準備委員会」と「赤江地域まちづくり再編委員会」を設け、これからの事業計画などを話し合っています。
地域協議会で本郷まちづくり設立が承認されれば、平成27年度4月から赤江地域と本郷地域2地区でまちづくり推進委員会が活動することになります。



赤江地区
人口：56,730人
世帯：26,103世帯
平成26年1月1日現在

人がつながる 地域がつながる



10月15日宮崎大学の根岸先生を招いてまちづくり推進委員を対象に講座を開催しました。根岸先生も赤江在住で、自治会長時代の苦労話を交えながら、わかりやすく説明していただきました。

「住民主体のまちづくりとは？」

- 他にはない自分たちの「よいまち」をつくっていくこと
- 「よいまち」とは、安全で、気持ちよく豊かに生活でき、住んでいてよかつたという実感が持て、その継承ができるまち
- まちづくりは、若いメンバーが動きやすく、がんばっている姿がみえるような規模がよいのではないか
- NPO・学校・企業の協力を得ることで活動が広がる

赤江は何をすべきか

- 住民主体のまちづくりができるかがポイント、いかに防災力・防犯力を高めるかの体制づくりが必要。そのためには顔の見える程度の単位が望ましく、中学校区単位で相互連携しつつも独立組織が望ましい
- 人材(次の担い手)育成
研修会や視察の実施
- お金か廻る仕掛けをつくる
(スポンサー企業の確保や自主事業など)

イキイキ健康茶屋 (宮崎県立看護大学)

9月17日(水)に実施しました。
75名の参加者が骨密度や体組成などを測定し、自分の体を知り、生活の中に運動を取り入れる方法を学びました。



ゲートボール大会 (津和田ふれあい広場)

11月12日(水)に実施しました。
初心者を含む33名が青空の下、即席チームにも関わらず楽しくプレーをしました。



自分の命を守るために！防災マップ授業

10月26日赤江小学校オースクスールで5年生を対象に実施しました。地区ごとにグループになり、地震が起きた時に避難できる場所や高い建物を地図上に書き入れ、気づいたことを発表しました。





まつり本郷

9月27日(土)Aコープ赤江南店駐車場で第2回まつり本郷が開催されました。どしや降りの雨にも関わらず多くの方にご来場いただき、当日準備してあった3000枚の抽選券が全てなくなるほどの大盛況でした。当委員会では今回、「本郷神楽～伝統文化の交流事業」として、地域に伝わる伝統文化を次世代に引き継ぎ、地域の活性化をはかる目的で地域の団体や自治会連合会と協働しました。



第4回あかえ子育てフェスティバル(宮崎県立看護大学)

8月23日(土)に開催しました。たくさん親子、地域の皆様にご来場いただきました。江藤先生のたばこの話・おもちゃ病院・木育コーナー・防災コーナー・看護大ブース・赤江まつばら支援学校の作品展など盛りだくさんの内容でした。
『点から線への子育て支援』をこれからも継続していきます。



知ろう!見よう!体験しよう! 身近な介護広場

12月3日(水)宮交シテイ紫陽花ホール 10:30~16:00
高齢者介護や介護予防に関する情報をお届けします。
スペシャルトークショー 14:00~15:00
『元気があれば何でもできる!』

宮崎県立看護大学教授
医師・医学博士 江藤敏治氏



編集後記

楽しみにしていた「第4回子育てフェスティバル」「第2回まつり本郷」が開催され大成功のうちに終了しました。ご協力ありがとうございました。赤江地区からの本郷分割も具体的に話が進み、本格化してきました。よりよいまちづくりのため皆さん一丸となって推進しましょう。(広報部会 平川晃)

■お問合せ先

赤江地域まちづくり推進委員会事務局(平日9時~16時)
電話(FAX)51-5122
メールアドレス akae5730@miyazaki-catv.ne.jp

この広報誌へのご意見等ありましたら、事務局までお寄せください。